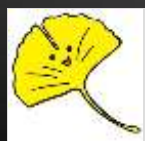


藤代高校だより 秋号



10/28。
授業公開で
会いましょう！

住所等
取手市毛有 640
Tel 0297-82-6283



十月二日(月)

読書の秋、芸術の秋

紙面から

- 1 秋の学校説明会
- 2 快挙！ インタラクティブフォーラム
- 3 部活動紹介など
- 4 新生徒会役員紹介
藤高トピックス
特色選抜実施概要

10月28日(土) 秋の授業公開のお知らせ！



ありのままの藤代高校の生徒の姿と普段の授業の様子を是非見てください！

本校では、「秋の授業公開」を実施します。

今回は「通常の教科の授業」、「道徳」、「道徳プラス」、「主権者教育」、「部活動の様子」とありのままの藤代高校の姿をご覧になっていただきたいという気持ちから計画いたしました。

多くの中学生とその保護者の皆様に、本校についての新たな発見をしていただきたいと思います。

見所を2つ紹介します。

① 1学年で実施する日本青年会議所と連携した「主権者教育」の授業(1頁下記)。

② 茨城県教育委員会教育長賞を受賞した、英語インタラクティブフォーラムの実演(2～3頁)。
生き生きとした藤高生の姿をご覧ください。

日程 ※ 下記の時間帯であれば、いつでも見学が可能です

	時間	1 学年	2 学年	3 学年	学校説明等
1 限	8:40～9:35	道徳	道徳プラス	平常授業	9:50～10:30 ・ 校長挨拶 ・ 学校説明(生徒会) ・ ②インタラクティブフォーラム実演
2 限	9:45～10:40	平常授業	平常授業	平常授業	
3 限	10:50～11:45	①主権者教育	平常授業	平常授業	
4 限	11:55～12:50	①主権者教育	平常授業	平常授業	
昼休み	12:50～	指定の教室で昼食をとることができます			
部活動見学		14:50 まで部活動見学が可能です。			

秋の授業公開 申込方法 〆切 10/19(木)

本校HP(中学生の皆さんへ)を参照ください。必要事項を記入して中学校単位でe-mailにてお申し込み(29koukai@fujishiro-h.ed.jp)ください。

申し込みに関して、ご不明な点がございましたら、担当者までお電話ください。

担当：教務係 熊谷、丹
Tel 0297-82-6283

授業公開の見所①

1 学年 3～4 限で実施
「主権者教育」の授業



◎ 授業のテーマ 「藤代高の生徒たちは、我が街(取手)を変えることができるのか？」

共催団体 公益社団法人 日本青年会議所(教育再生グループ)

地域の方々(日本青年会議所)と連携して、1年生全員が、我が町(取手市)の課題について話し合います。課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力を養います。



授業公開の見所② 平成 29 年度英語インラクティブフォーラム(高校 A 部門) 藤高生が茨城県教育委員会教育長賞を受賞

○ 日時 : 平成 29 年 8 月 22 日(火) ○ 場所 : 筑波学院大学

インタラクティブフォーラムとは、英語のプレゼンテーションを通し、広い視野から社会を理解し、発展に寄与する態度を育て、ICTを活用しながら、英語を使い双方向かつ論理的にコミュニケーションを図る力を高めるためのものです。

The Challenges to Communication in Japan's Youth <コミュニケーションを取ろう！>

What do you think is wrong here? Is there a problem? Yes, there is! And it's a big problem among the younger generations in the world today. Look at them, using the smartphone is not a bad thing, and there are many great uses, but don't you think this affects our ability to communicate with each other?

**What's the point of eating together?
If there's
NO INTERACTION**



Do you think the communication skills of Japan's young people have been decreasing? Recently less people talk face to face these days. Even though we spend time together, most times each person is busy playing games or texting on their smartphones. For example in this picture, the students are eating lunch together, but they are not interacting, instead everyone is looking at their smartphones. What is the point of eating together if there is no interaction? The reality is due to overuse of smartphones and other devices our chances to communicate with each other are decreasing.

Let's think about the situation where he/she prefers to be alone. Have you heard the word "Ohitorisama-bunka"? It means 'the culture of people who do everything alone' and I think this affects our ability to communicate. This closes us off from others. And is it really good to live this way?

Now let's consider the situation in which he/she is isolated but doesn't want to be alone. Many times we Japanese often care about what others think too much. This causes some students to think negatively about themselves. This makes it hard to fit into a group. Many people don't share their feelings, instead they just join a group because it's safe, and this

見事な成績を修め
喜びを噛みしめる
藤代高校チーム



写真左から ()内は出身中学 全て高2生
東郷陽菜さん(土浦三中) 田原葉奈さん(城西中)
石引花明さん(伊奈中) 丸山陸君(中根台中)
水沢悠世君(長野県飯田市立高陵中)

limits our chances to truly communicate with each other.

So it is clear based on these three reasons: 1) overuse of smartphones and technology, 2) isolation by adapting the culture of ohitorisama-bunka, and 3) having low self-esteem and lack of confidence, that there are serious challenges to building effective communication skills in our generation today. How important is having good communication skills? First, having good communication skills improves our ability to communicate with others. Second, it is only by communicating with each other, that we get to know each other well. Third, having good friends makes our daily lives better, so we will be happier people. By developing good communication skills we can make great contributions to our society and our individual communities. Have you ever heard the phrase, "No man is an island"? This means there is strength in unity. This helps us to grow our economies and increase the development of our country, but this starts with good communication.

We can start by limiting the time spent on our smartphones. At my home, my mother forbids us from using the smartphone, or watching TV at dinner time. Without these distractions we are able to enjoy our food and listen to each other more carefully, and as a result we get to share in their experiences.



(次ページに続く)

I agree! If we show interest in and care about our peers, it will be easier to talk to them, and include them in our activities. This will also help them to think positively about themselves. We don't need to lose our friends if we reach out to them, besides the more friends we have the happier we become.

Lastly, in order to improve our communication skills and self-confidence, we should first identify the good points in ourselves, and at the same time focus on the good points in other people. In addition, we can start by accepting that mistakes are helpful, and sharing our feelings with each other is the foundation to building understanding.



Let's Be Present and Be Active Communicators

I am sure we all agree that being able to communicate is integral to our existence as humans, as a country, a society and a community. As young people, we are the future of the Japanese society.

Without good communication and communication skills we will be unable to advance our country and future generations.

So we must solve these issues now so we can enjoy a brighter tomorrow. So let's limit the time spent with social media and smart technologies. Let's abandon the culture of isolation. Let's appreciate the differences in everyone. Let's reach out to our peers, and help to build their confidence. Let's be present and be active communicators. Thank you for listening.

〔発表概要〕

スマホを使わずにいらなくて友人達と一緒に教室にいる時も昼食中もお互いに話をしない状況が気になり、日本の若者のコミュニケーション能力が低下しているのでは?という疑問からその原因と対策を考察しました。原因としてはスマホ等の電子機器に依存しすぎていることや、最近のお一人様ブーム、また日本人独特の自信のなさから来るコミュニケーションへの消極性などを挙げ、それに対して日本の未来のためにも電子機器の使用時間の制限や、お一人様文化を捨てることや、お互いの違いを認めて仲間に手をさしのべ自信を持てるようにして、積極的にコミュニケーションを取ろうと訴えました。



活発な部活動



今回は野球部と男子ハンドボール部を紹介します



私たち野球部は、甲子園出場を目標に日々練習に励んでいます。菊地監督のご指導のもと、専用野球場や雨天練習場などの充実した施設を使って効率よく練習し、秋・春・夏のいずれかの大会で、毎年ベスト8以上の結果を残し続けています。先輩方が築き上げた甲子園出場5回の実績に恥じぬよう、1日1日の練習を大切に、**6回目の甲子園出場を目指し**ます。野球場で毎日練習しているので、興味のある方は是非見学に来てください。私たちと一緒に甲子園に行きましょう。

稲荷田 朝陽君(2年)
(柏市立酒井根中学出身)



今夏県予選ベスト4進出



私たちハンドボール部は、初心者主体のチームです。しかし先輩方は、互いに励まし合い努力を続け、初心者のみで編成したチームで**県大会ベスト4に進出**するという偉業を成し遂げました。

私たちは先輩方に肩を並べるよう、日々練習に励んでいます。「声だします。走ります。」をスローガンに、チームの戦い方を全員で作り上げ、責任感×部員数=一体感の考え方を基に団結を深めています。まずは県大会ベスト8!

「どこまで行けるかは気持ちしだい」と肝に銘じチャレンジを続けていきます。



中山 徹哉君(2年)
(つくばみらい市立伊奈東中学出身)

生徒会 新しい出発！ 第 46 期生徒会役員決まる

会長 野川 観鈴さん(2 年) 取・取手二中出身

46 期生徒会がスタートしました。私にとって 45 期の先輩方は素晴らしく、憧れであり目標です。1 日でも早く先輩方に追いつきたいと思っています。そして全校生徒が「藤高で良かった！」と思えるような生徒会活動を行っていききたいと思います。(前列中央)



様々な行事の立案に追われながらも、いつも笑顔の第 46 期生徒会役員

副会長 秋山 莉帆さん(2 年) 河・河内中出身

昨年度学んだことを生かし、行事等に取り組んでいきます。よろしくお願いします。(前列左)

副会長 及川 真人君(2 年) 牛・牛久南中出身

生徒全員が楽しい学校生活を送れるよう、役員全員で頑張っていきたいと思っています。(前列右)

書記 北澤 美優さん(1 年) 龍・城ノ内中出身

「この学校に入って良かった」とみんなが言えるよう、1 年間頑張っていきたいです。(後列左)

書記 北澤 悠君(1 年) 河・河内中出身

藤代高校をより良いものにしていけるように頑張っていきたいと思っています。(後列中央左)

会計 渡邊 怜央君(1 年) 取・取手二中出身

仕事ひとつひとつに探究心を持ち、勉強していきます。楽しい学校を目指します。(後列中央右)

会計 宮本 かのんさん(1 年) 取・取手二中出身

自分の仕事に責任を持ち、よりよい学校づくりに貢献できるように頑張ります。(後列右)

トピックス 最近の行事を 2 つ紹介します！



在り方生き方講演会を実施

9 月 7 日(木)に本校独自の「在り方生き方講演会」が実施されました。

今年は N P O 法人 NEWVERY 理事の倉部史記先生に「15 年後の社会を生き抜くための『進路づくり』」というテーマで、これからの職業と大学選びについてお話いただきました。**1 年生の山崎 玲南さん(取手二中出身)**は、

「自分の未来について、今必要なのは地図ではなくコンパスだという話と、才能はかけ算だという話がとても印象深かった。」と感想を述べてくれました。



熱心に聞き入る生徒たち

インターナショナルデイを実施

9 月 14 日(木)。JICA 筑波からの研修員の方々と交流を行いました。生徒は、日本の文化であるアニメ、スポーツ、行事等を英語だけではなく



ジェスチャーを混ぜて説明していました。「伝わらない」という悔しそうな顔をしたり、「伝わった！」と笑みをこぼしていました。日本の遊びや食事を体験では、お菓子やかき氷を一緒に作って食べたり、竹とんぼを教えていたり JICA の方たちも驚きながらも楽しんでいました。活気あふれる International Day になりました。

県立藤代高校 平成 30 年度入学者選抜における特色選抜実施概要

募集人員 の割合	出願要件	選抜資料及び配点			
		学力検査	調査書	面接	合計
12%	次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校の運動部又は地域におけるスポーツのクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組んだ者 イ 本校入学後、次のいずれかの部活動に適應できる資質・能力を有し、3年間積極的に活動する意欲のある者 ○野球部(男) ○ハンドボール部(男) ○陸上部 ○バスケットボール部	500	200	200	900